



子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

J P 子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2022年1月号)

〒146-0082 東京都大田区池上 1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
<http://www.kodomono-mori.net> <mailto:info@kodomono-mori.net>

「J P 子どもの森づくり運動」とご縁をさせていただいた方々に、
活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



新しい年が始まりましたが、ここにきてまた新型コロナウイルス感染症が拡大しています。

長らく感染症対応の中で、エッセンシャルワーカーとして厳しい保育の日々を過ごしておられる
参加園の皆様に、心より敬意を表します。J P 子どもの森づくり運動では、今年もそんな皆様の活動を
せいっぱいサポートさせていただこうと思っております。今年もよろしくお願い申し上げます。
(＊写真は、岩手県「つつみこども園」のどんぐり工作の作品です。)

(目次)

1. 2021年活動のふり振り返り
2. 参加園活動レポート
3. リレーエッセイ (2022年1月号)
4. 事務局からのお知らせ

■「J P 子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。
しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P 子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の保育園・幼稚園・こども園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「J P 子どもの森づくり運動」運営体制

・運 営 : NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）

・特別協賛 : 日本郵政グループ

・主な後援/協力/連携団体

(公社)全国私立保育連盟

(公社)大谷保育協会

保育環境研究所ギビングツリー

(公社)国土緑化推進機構

NPO法人 富良野自然塾

(公社)こども環境学会

国際校庭園庭連合日本支部

(一社)日本森林インストラクター協会



1. 2021年活動のふり振り返り

今月号の子森通信では、昨年の主な活動をふり振り返り、今後の活動展開の足がかり（ステップ）としたいと思います。それぞれの活動の詳細は、ホームページでご紹介しております。是非、ご覧下さい。⇒<https://kodomono-mori.net/>

1) どんぐりを育てる活動

★継続される地元の森のどんぐりを育てる活動



2021年5月16日
大野幼稚園 植樹活動



2021年6月5日
浄心こどもの城 植樹会



2021年11月24日
児玉保育園 植樹活動

★循環する「東北復興グリーンウェイブ」の活動

「東北復興グリーンウェイブ2021」

- 岩手県：大槌町に活動が拡がり、全国から届いたどんぐりの苗木が、新設された苗畑に植えられました。
- 福島県：今年も、除染活動で失った地域の緑の復興を目的に、「伊達こども園」の園庭にどんぐりの苗木が植えられました。*（ ）内活動園名



2021年5月、全国24の参加園から、東北のどんぐりの苗木が被災地に送られました。（鹿児島県「こまどり保育園」）



2021年6月7日(月) 岩手県「つつみこども園」の子どもたちが、全国から届いたどんぐりの苗木を苗畑に植樹



2021年11月、東北から届けられた東北のどんぐりを、ポットに種まき
（広島県「保育所みのり愛児園」）



2021年10月、岩手県の森で東北のどんぐりが拾われ、全国に届けられました。
（岩手県「あかまえこども園」）



2021年11月18日(木)福島県「伊達こども園」における園庭への植樹
「どんぐり〜ず」も参加してくれました。

2) オンライン活動

新型コロナウイルス下の中で、それでもより良き保育づくりの活動は進めていかねばなりません。ＪＰ子どもの森づくり運動では、これからの運動を支える３つの活動について、オンラインによる取り組みを実施しました。

- 1) **自然・環境体験活動** ⇒ 7月「体験活動における感染症対策」8月「保育のための安全対策」9月「子どもと自然」をテーマに、オンライン講座を実施しました。
- 2) **園庭緑化運動** ⇒モデル園３園を対象に、２年目のオンライン講座を継続しました。2021年度末に、これまでの活動を取りまとめた冊子を発行予定。
- 3) **保育防災講座** ⇒「保育防災アクションマイスター認定講座」をオンラインで実施。2022年2月に、1期生が誕生します。

3) 広報活動

参加園の活動を広報し、運動の拡がりや保育・幼児教育の社会的地位の向上に努めるのも J P 子どもの森づくり運動のミッションです。2021年も、「子森通信」や「子森チャンネル」をはじめ、環境展示会等に出展し、積極的な情報発信を実施しました。



2021年4月15日(木)～5月14日(金)の期間、第30回森と花の祭典「みどりの感謝祭」(オンライン開催)に出展しました。



国内最大の環境展「エコプロ2021」に出展しました。

日時：2021年12月8日(水)～17日(金)

会場：東京ビッグサイト・東2,3ホール

2. 参加園活動レポート

●広島県「保育所みのり愛児園」東北のどんぐりを見送る活動レポート

* 日時：2021年5月31日(月) * 会場：自園 * 参加園児：4、5歳児 * 地元郵便局の方2名参加

新型コロナウイルス感染防止対応のため、縮小して行いましたが、子どもたちと「どんぐりさん、大きくなってね」と、どんぐりの絆BOXの乗った郵便車を見送りました。By：保育所みのり愛児園 岸田先生



●埼玉県「児玉保育園」東北のどんぐりを見送る活動レポート

* 日時：2021年5月28日(金) * 参加園児：年長児34名 * インストラクター：神座氏 * 児玉郵便局の皆さん

始めに職員によるどんぐりの絵本を見ました。「面白いね」と興味津々でした。次に神座先生(森林インストラクター)よりどんぐりから根がでて、芽が伸びて成長していく様子を絵で説明して頂きました。また、本物をみてより詳しく知ることができました。どんぐりにより成長の違いがあることを知り、不思議そうに見ていました。その後みんなでどんぐりを植えることを伝えて頂き、期待を持てるようお話しして頂きました。自分たちで植えることを楽しみにしている子ども達の様子がありました。児玉保育園 吉田智紀先生



3. リレーエッセイ (2022年1月号)

今月号からは、リレーエッセイ2021年度のアンカーとして、子森ネットの理事である、福井県大野幼稚園の藤 兼量園長先生にご担当いただきます。より良き保育・幼児教育を実践する保育者であると同時に、全国の保育者をサポートするNPO理事としての立場でメッセージをお送りいただきます。藤先生には、2月に開催予定の「全国集会 & 研修会2022」における、パネルディスカッションのコーディネーターもご担当いただきます。

『本当のことを中心とした保育』 認定こども園 大野幼稚園 園長 藤 兼量



私たちは、思いもかけず今の時代に生まれ出てきました。どのような時代なのか、誰に出会うのかも知らずに、それでも自分を生きようとして生まれ出てきたのではないのでしょうか。それは『いのち』が持つ不思議な勇気の働きだと思います。この働きは全ての『いのちあるもの』に対して無条件に平等に働き続けているのでしょうか。

生きていく間には時に予想もできない事態に巡り合うことがあります。失望し混沌とした思いに苛まれ自分の存在価値を見失ってしまいます。そんな時でも『いのちの持つ勇気』は私たちに働き続けています。だから「何とかしなければ！」と無我夢中で立ち上がる衝動が生まれるのだと思います。やがてそれは様々な工夫を生み出し、主体的に生きてゆく姿につながってきます。『保育』という営みはこのような働きが一人ひとりに備わっているという信頼によって成り立っているものだと思います。

どのような状況になっても、一人ひとりが主体的に工夫をし続けて生きてゆくことが重要になります。私たちは『どんぐりの活動』を通じて、多くの『いのちの持つ勇気』と出会い、さらにその中から重要な保育の基本を学んできたことです。本当に子どもを大切にすることは？子どもと共に生きることは？これからも日々工夫をしながら、学び続けて行きたいと思います。



ご承知のように国の『保育指針の改訂』、『幼稚園教育要領の改訂』、『認定こども園教育・保育要領の改訂』は、小・中・高等学校までの一貫した三つの柱を軸とした『学習指導要領』の改変と連携したのとなっており、子どもの豊かな育ちと学びを長いスパンで見通したものと言えます。このことによって益々『本当のことを中心とした保育』の意味が明らかにされ、それに基づいたより具体的な保育実践が求められることです。

改訂された3法のなかで、大切にされている内容の一つに「自然体験学習の重要性」が挙げられていますが、この度の研修会（「全国集会 & 研修会2022」）に於いても中心的テーマの一つとして共に考える機会にいただければと思います。NPO法人子どもの森づくり推進ネットワークでは、幼児期の自然体験の実践として永年にわたりその活動を続けてきましたが、その中で課題となってきたことに基づいて研修が計画されています。

特に今回の研修では、メインテーマ『幼児（少）期の環境教育』の基で、環境教育としての自然体験のあり方を考え本当のことを中心にした保育の実践に結びつけるという視点で、リモートによるパネルディスカッションを予定しております。

4. 事務局からのお知らせ：「保育防災アクションマイスター認定講座」2022年度生を募集します。

「全国集会 & 研修会2022」（以下「全国集会」）において、「保育防災アクションマイスター」の1期生が認証され、2021年度の認定講座が終了します。つきましては、2月から、「保育防災アクションマイスター認定講座」2022年度受講生（2期生）の募集を開始します。募集の詳細はホームページでご案内します。また、上記「全国集会」において、受講生募集のオリエンテーションを実施します。募集締切間際ですが、ご興味のある方は急ぎご参加下さい。参加申し込みはホームページで案内しております。